

# 【漁況】

## [マアジ]

### 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマアジの漁獲量は、昭和40年の53万トンにピークに減少傾向となり、昭和55年には5万4千トンとなりました。その後増加傾向に転じ、平成8年には33万トンに増加し、平成10年までは30万トン台で推移しましたが、再び減少傾向に転じ、平成24年も13万4千トンと低調に推移しました。

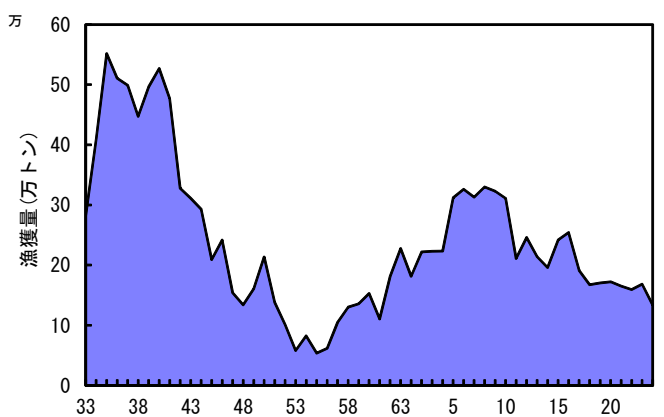


図 全国のマアジ漁獲量の推移

### 2. 平成 26 年 4～6 月期の漁況の経過

【4 港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、4月に甌島西沖，川内沖，6月下旬に甌島北沖で漁場が形成されました。薩南海域では、漁場の形成はなく散発的な漁獲に留まりました。

4 港計のまき網では、マアジ仔，豆（0・1 歳魚：平成 25・26 年生まれ）主体に 266 トンの水揚げで、前年の 150 % 及び平年の 66 % となりました。

### 3. 平成 26 年 7～9 月期の見とおし

漁獲の主体は、マアジ仔（0 歳魚：平成 26 年生まれ）で、マアジ豆・小（1 歳魚：平成 25 年生まれ）も混じるでしょう。

来遊量は、前年を上回り、平年を下回るでしょう。

（根拠）

漁獲の主体と来遊量は、現在の漁況経過や近年の漁獲パターンから予測しました。

漁獲主体となるマアジ 0 歳魚は、6 月下旬にまとまった漁獲があり、前年を上回ると考えられますが、1 歳魚以上は最近の漁況経過から平年を下回ると考えられます。以上のことから、全体としては、前年を上回り、平年を下回ると考えられます。

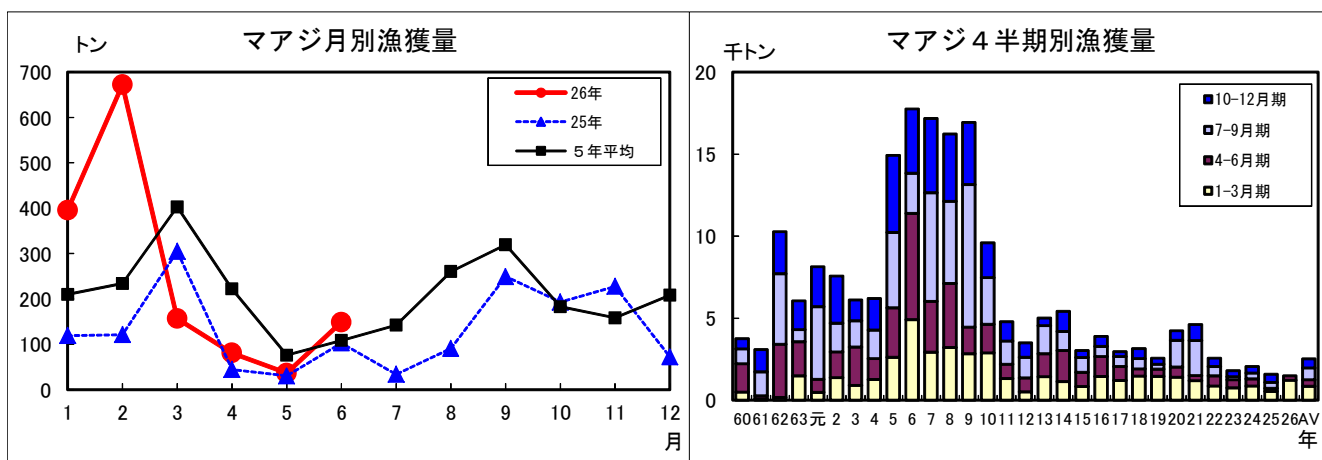


図 マアジまき網漁獲量変化(4 港計)

※平年値は過去 5 年（平成 21～25 年）の平均値(AV)，平成 26 年 6 月 25 日までの水揚量を使用

## [サバ類]

### 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のサバ類の漁獲量は、昭和53年の160万トンをピークにマサバ資源水準の低下により年々減少し、昭和57年には72万トンとなりました。昭和63年以降はゴマサバの資源水準も低下したため、サバ類の漁獲量は大きく減少しましたが、平成5年から増加に転じ平成9年には84万9千トンまで増加しました。その後再び減少し、平成14年は28万トンになりました。平成17年・18年は再び増加しましたが、平成19年以降減少傾向にあり、平成24年は44万3千トンとなりました。

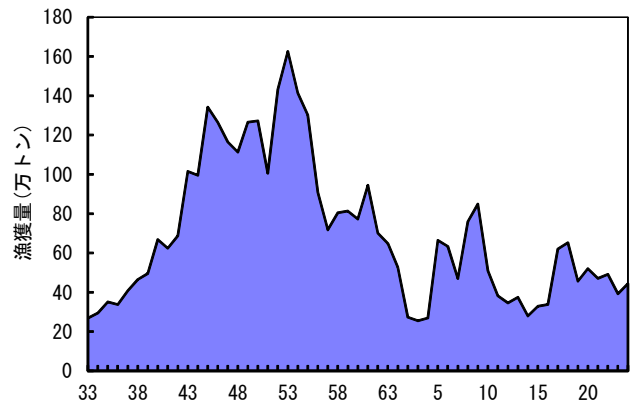


図 全国のサバ類漁獲量の推移 年

### 2. 平成26年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域では、漁場は形成されませんでした。

薩南海域では、4月・5月に馬毛島沖、6月に種子島北沖に漁場が形成されました。

4港計のまき網では、薩南海域でゴマサバ中、中小（2・3歳魚：平成23・24年生まれ）主体に6,088トンの水揚げで、前年の119%及び平年の130%となりました。

### 3. 平成26年7～9月期の見とおし

漁獲の主体は、ゴマサバ中（3歳魚：平成23年生まれ）で、ゴマサバ中小（2歳魚：平成24年生まれ）も混じるでしょう。

来遊量は、前年並で平年を下回るでしょう。

（根拠）

漁獲の主体と来遊量は、現在の漁況経過や近年の漁獲パターンから予測しました。

ゴマサバ1歳魚は、加入状況が低調であることから、前年・平年を下回ると考えられます。

2歳魚、3歳魚は今期も漁獲の主体として来遊しますが、これまでの漁獲状況から平年を下回ると考えられます。以上のことから、全体としては、前年並で平年を下回ると考えられます。

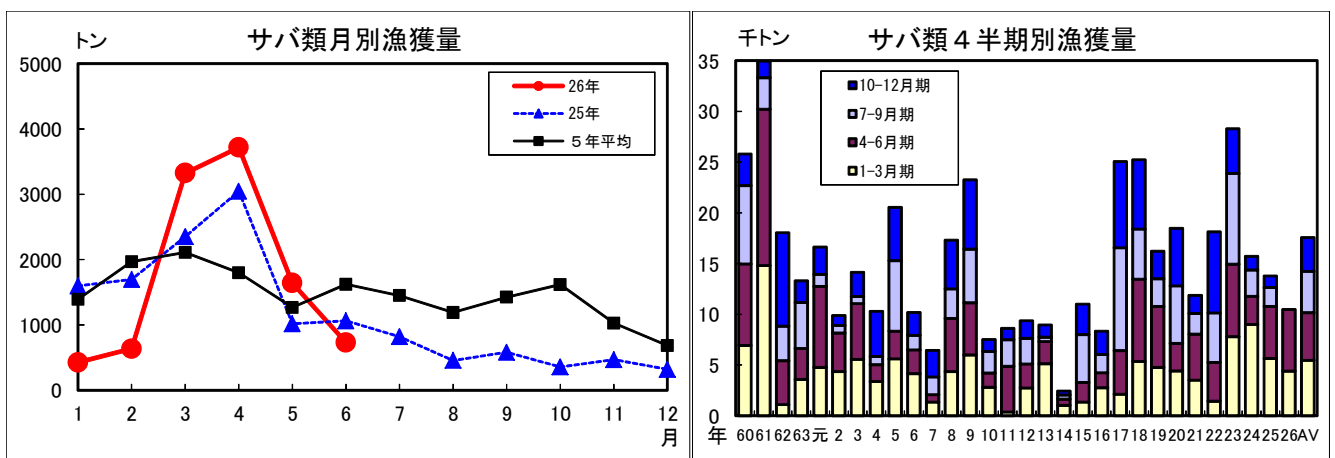


図 サバ類まき網漁獲量変化(4港計)

※平年値は過去5年（平成21～25年）の平均値(AV)、平成26年6月25日までの水揚げ量を使用

# [マイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のマイワシの漁獲量は、昭和30年代から40年代にかけての不漁期の後、昭和48年頃から増加の傾向が見られ、昭和63年には449万トンまで増加しました。

しかし、平成元年から全国的に漁獲量は減少を続け、平成17年には3万トンとなりました。

平成23年は18万トンと平成14年以降10年ぶりに10万トンを超える漁獲があり、平成24年も17万トンの漁獲がありました。

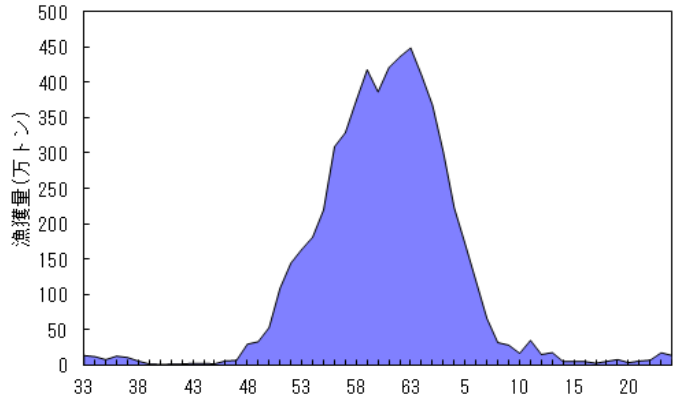


図 全国のマイワシ漁獲量の推移 年

## 2. 平成 26 年 4～6 月期の漁況の経過

【4 港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域のまき網では、甌島北沖で漁場が形成されました。

薩南海域のまき網では、内之浦沖、枕崎沖、坊津沖で漁場が形成されました。

北薩海域の棒受網では、川内沖から長島で漁場が形成されました。

4 港計のまき網では、小羽(0 歳魚：平成 26 年生まれ)主体に 241 トンの水揚げで前年の 10 %、平年の 27 %でした。

北薩海域の棒受網は、37 トンの水揚げで前年の 8 %、平年の 23 %でした。

## 3. 平成 26 年 7～9 月期の見とおし

漁獲の主体は、小羽(0 歳魚：平成 26 年生まれ)でしょう。

来遊量は前年を下回り、平年並みでしょう。

(根 拠)

漁獲の主体と来遊量は、現在の漁況経過や近年の漁獲パターンから予測しました。

前期(4～6月)は、好漁であった前年ほどの小羽のまとまった来遊は見られませんでした。6 月後半にややまとまった漁獲が見られていることから、前年は下回るものの、平年並みの来遊は見込めるものと考えられます。

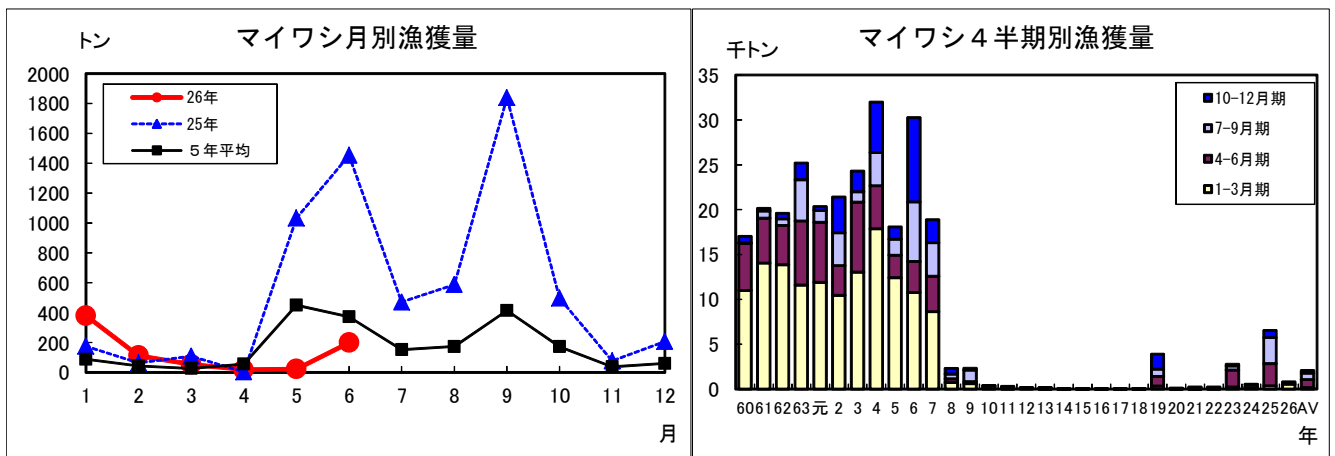


図 マイワシまき網漁獲量変化(4 港計)

※平年値は過去 5 年（平成 21～25 年）の平均値(AV)、平成 26 年 6 月 25 日までの水揚量を使用

# [ウルメイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のウルメイワシの漁獲量は、昭和30年代から60年代にかけて3～5万トン前後で推移しました。

その後、増減を繰り返しながら増加傾向を示し、平成6年に6万8千トンとなりましたが、翌年以降減少傾向に転じ、平成12年は2万4千トンとなりました。

平成15年以降は再度増加傾向に転じ、平成23年には8万5千トンと昭和33年以降最高の漁獲量となり、平成24年も8万1千トンと好調に推移しました。

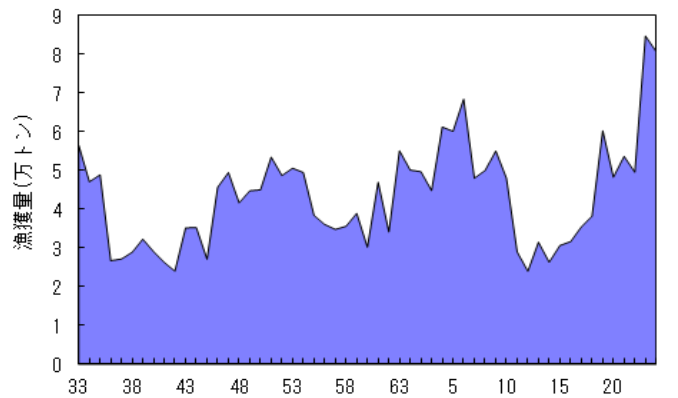


図 全国のウルメイワシ漁獲量の推移

年

## 2. 平成26年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域のまき網では、牛深沖、甌島北沖に漁場が形成されました。

薩南海域のまき網では、枕崎沖、内之浦沖、坊津沖に漁場が形成されました。

北薩海域の棒受網では、川内沖から長島で漁場が形成されました。

4港計のまき網では、0歳魚（平成26年生まれ）主体に964トンの水揚げがあり、前年の56%、平年の91%でした。

北薩海域の棒受網では、130トンの水揚げで前年の57%、平年の72%でした。

## 3. 平成26年7～9月期の見とおし

漁獲の主体は、小羽（0歳魚・平成26年生まれ）でしょう。

来遊量は前年を下回り、平年並でしょう。

（根拠）

漁獲の主体と来遊量は、現在の漁況経過や近年の漁獲パターンから予測しました。

今期も0歳魚（平成26年生まれ）主体の来遊となります。0歳魚は、4月以降まき網、棒受網ともに一定の漁獲が続いていることから、好漁であった前年は下回るものの、平年並の来遊は見込めるものと考えられます。

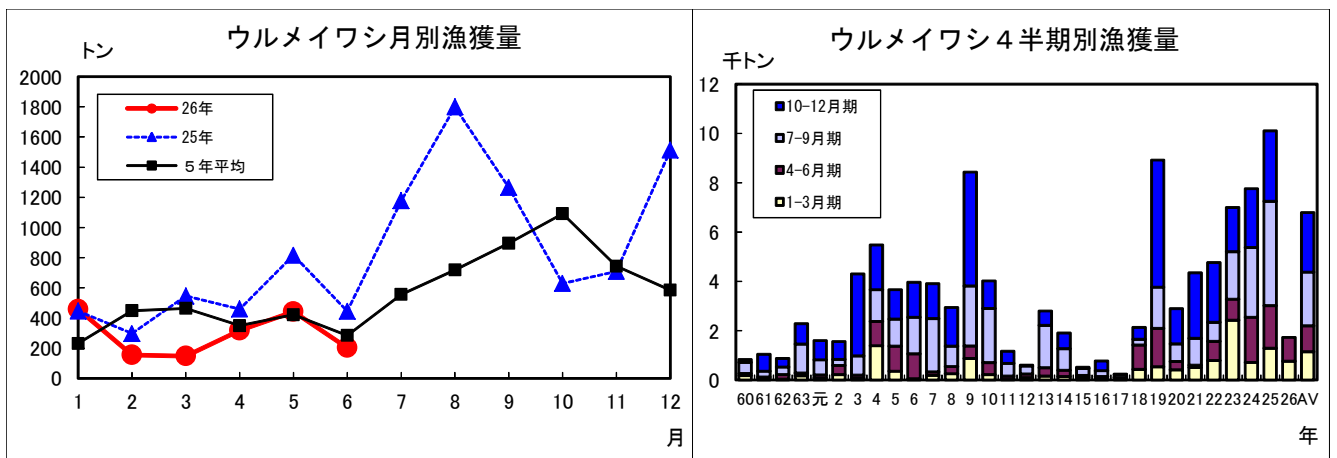


図 ウルメイワシまき網漁獲量変化（4港計）

※平年値は過去5年（平成21～25年）の平均値（AV）、平成26年6月25日までの水揚量を使用

# [カタクチイワシ]

## 1. 漁獲量の動向（農林統計）

全国のカタクチイワシの漁獲量は、昭和48年まで30万トン台で変動していましたが、昭和49年以降減少傾向となり昭和54年には13万トンとなりました。

その後、徐々に漁獲量は増加し昭和59年には22万トンとなりましたが、昭和62年には再び14万トンまで減少しました。

昭和63年以降は大きく増減を繰り返し、平成15年は過去最高の53万5千トンとなりましたが、その後減少傾向に転じ、平成24年は24万5千トンとなりました。

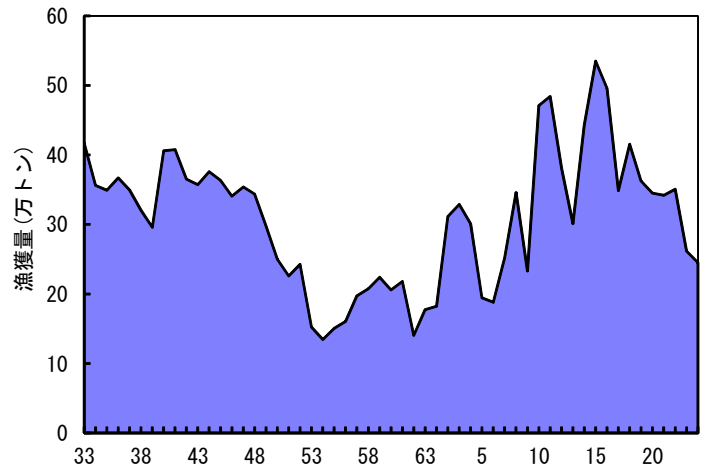


図 全国のカタクチイワシ漁獲量の推移

## 2. 平成26年4～6月期の漁況の経過

【4港計（阿久根；枕崎；山川；内之浦）】

北薩海域のまき網では、主に長島、甌島東沖に漁場が形成されました。

薩南海域のまき網では、内之浦沖に漁場が形成されました。

4港計のまき網では、中羽（平成25年生まれ）主体に501トンの水揚げで、前年の27%、平年の69%でした。

北薩海域の棒受網では、長島に漁場が形成され、中羽（平成25年生まれ）主体に232トンの水揚げで、前年の37%、平年の78%でした。

## 3. 平成26年7～9月期の見とおし

中羽（平成26年生まれ）と大羽（平成25年生まれ）が漁獲の主体で、来遊量は前年を下回り、平年並でしょう。

（根拠）

漁獲の主体と来遊量は、現在の漁況経過や近年の漁獲パターンから予測しました。

前期の漁況は、好漁であった前年を下回り、また西薩海域の前年の秋季バッチ網の漁況が低調であったことから、来遊水準は好漁であった前年は下回ると考えられます。しかし、6月後半にまとまった漁獲が見られていることから、平年並の来遊は見込めると考えられます。

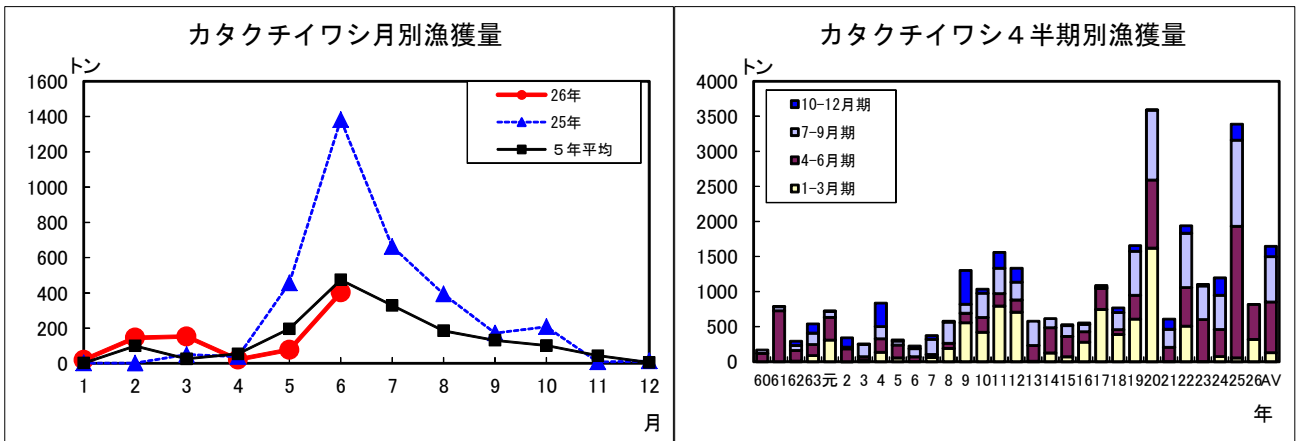


図 カタクチイワシまき網漁獲量変化（4港計）

※平年値は過去5年（平成21～25年）の平均値（AV）、平成26年6月25日までの水揚量を使用

# [シラス]

## 1. 経年経過及び平成 26 年 4～5 月期の漁況の経過

バッチ網漁業の漁獲量は、西薩海域では平成 11 年の 5,450 トンをピークに減少傾向を示し、平成 14, 15 年と 1,000 トンを下回り低調に推移しました。その後平成 16 年は 3,507 トンと比較的好調に推移しましたが、平成 17 年以降減少傾向を示し、平成 25 年は 1,438 トンとなりました。

志布志湾海域では平成 12 年の 1,407 トンをピークに減少傾向を示し、平成 14 年は 396 トンまで減少しました。その後平成 15 年以降は増加傾向を示し、平成 19 年は 2,374 トンと好調に推移しましたが、その後は減少傾向を示し、平成 25 年は 1,426 トンとなりました。

今期の西薩海域の漁況は低調に推移し、カタクチシラス主体に 391 トンの水揚げで、前年の 48 %、平年の 44 %でした。

志布志湾海域の漁況は、4 月は好調、5 月は低調で、カタクチシラス主体に 412 トンの水揚げで、前年の 111 %、平年の 108 %でした。

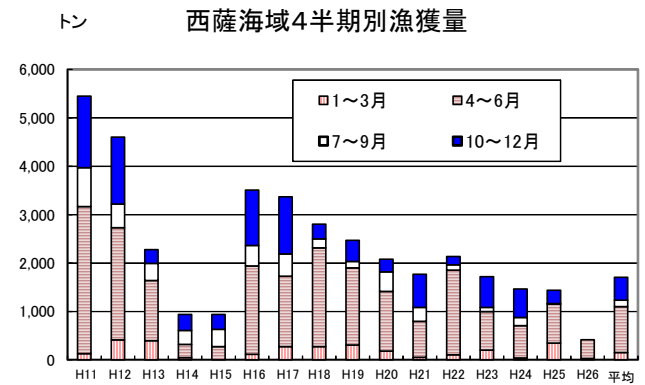
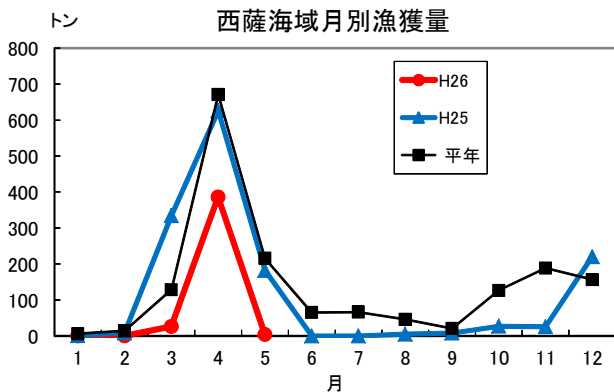
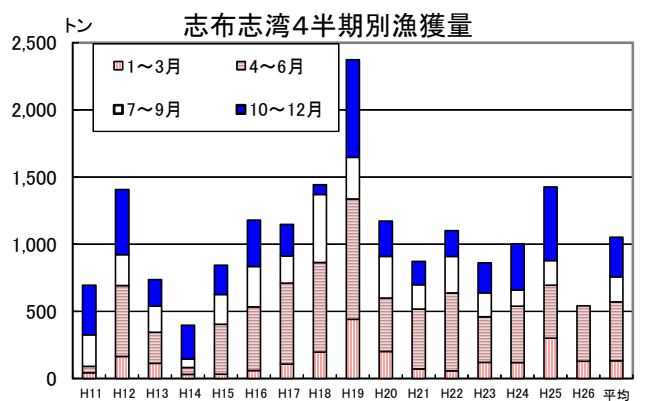
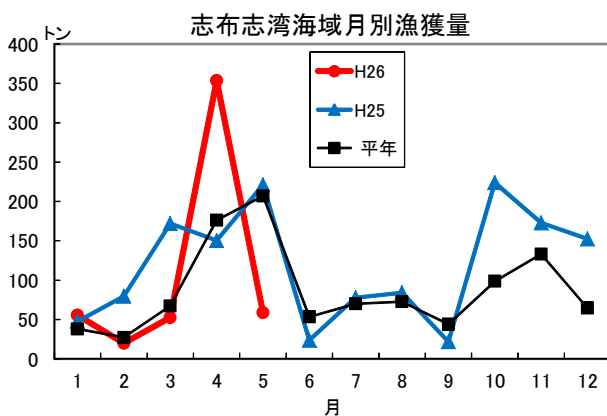


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化 (4 漁協計)



志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化 (2 漁協計)

※平年値は過去 5 年 (平成 21 ~ 25 年) の平均値 (AV), 平成 26 年 5 月 31 日までの水揚げ量を使用



## [イワシ類参考資料]

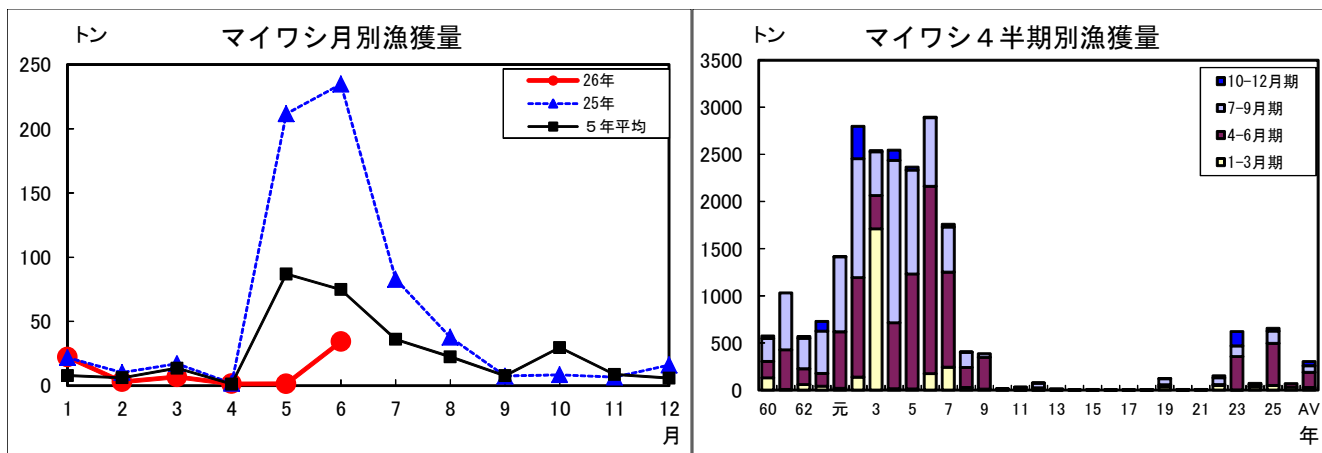


図 マイワシ棒受網漁獲量変化(阿久根港)

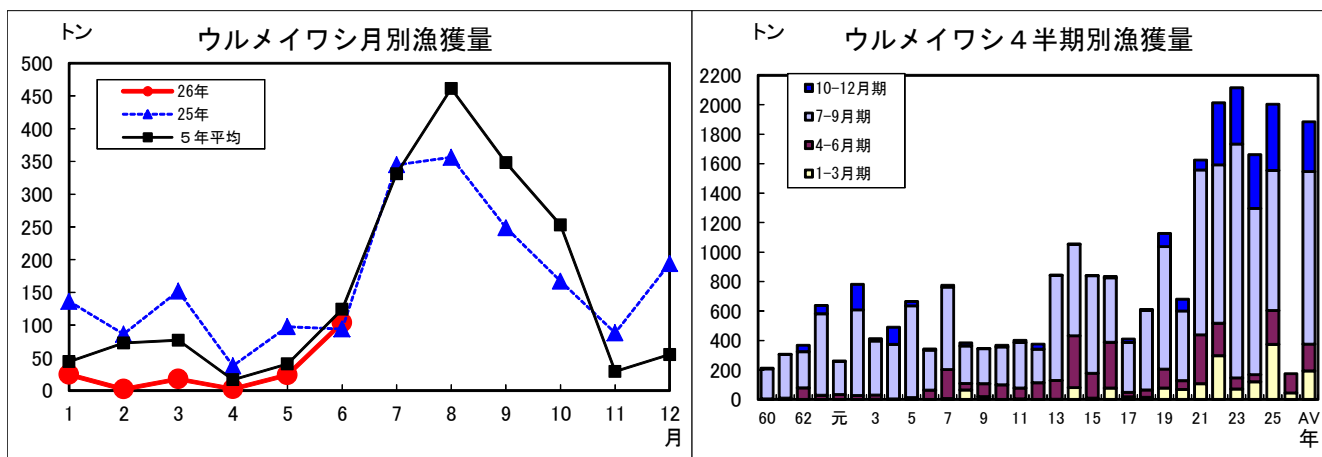


図 ウルメイワシ棒受網漁獲量変化(阿久根港)

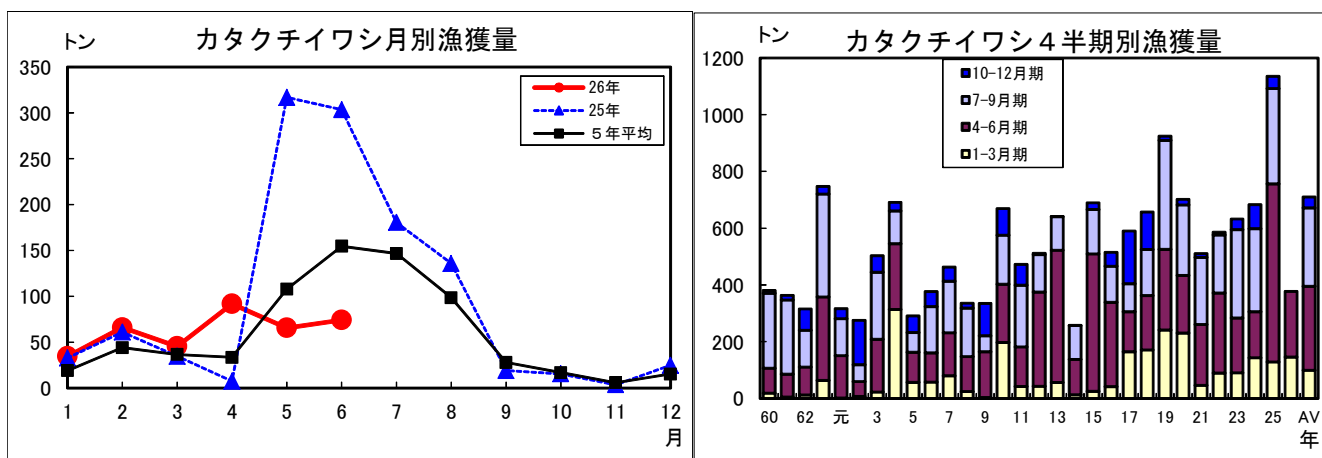


図 カタクチイワシ棒受網漁獲量変化(阿久根港)

※平年値は過去5年(平成21~25年)の平均値(AV),平成26年6月25日までの水揚量を使用

[参考：漁況経過のみ記載]

〈ムロアジ類（クサヤモロ，モロ）（水産技術開発センター調べ：4港計）〉

1. 経年変化及び平成26年4～6月期の漁況の経過

ムロアジ類の漁獲量は、平成2年の21,700トンピークに急減し、平成6年以降は、1,500トンから4,500トンの間での推移しており、平成25年は3,512トンとなりました。

平成26年4～6月は、薩南海域では、クサヤモロ中小主体の漁獲があり、期全体で267トンの水揚げで、前年の68%及び平年の60%となりました。

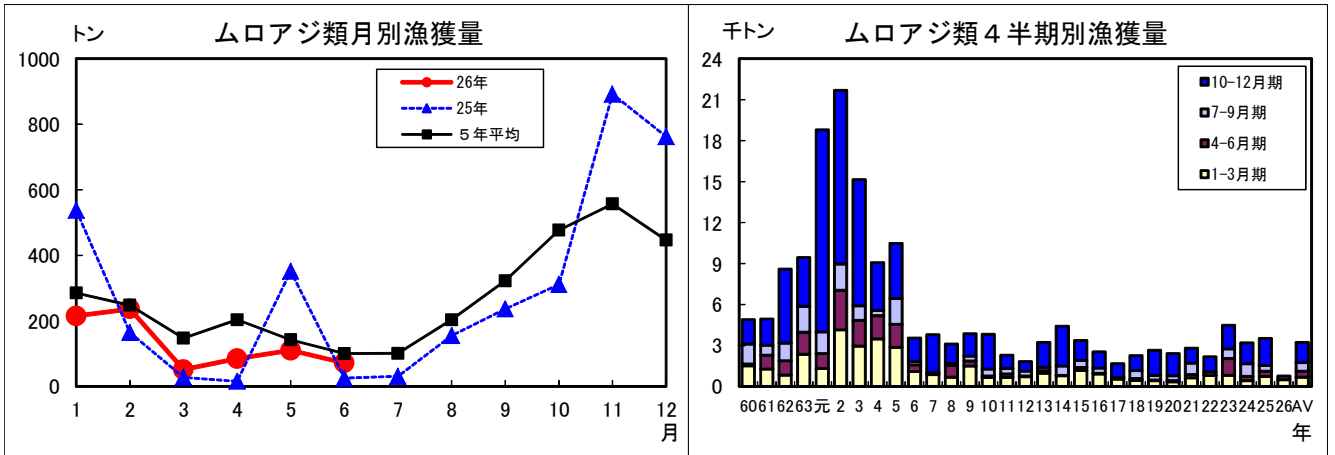


図 ムロアジ類まき網漁獲量変化(4港計)

※平年値は過去5年（平成21～25年）の平均値(AV)，平成26年6月25日までの水揚量を使用

〈オアカムロ（水産技術開発センター調べ：4港計）〉

1. 経年変化及び平成26年4～6月期の漁況の経過

オアカムロの漁獲量は、平成元年の5,300トンピークに一旦減少し、平成7年に4,400トンと再度ピークを迎えた後は減少傾向となっていました。平成20年は2,291トンと一旦増加しましたが、再び減少傾向で平成25年は1,622トンとなりました。

平成26年4～6月は、薩南海域では、漁場は形成されず漁獲は低調に推移し、期全体で61トンの水揚げで前年の22%及び平年の21%となりました。

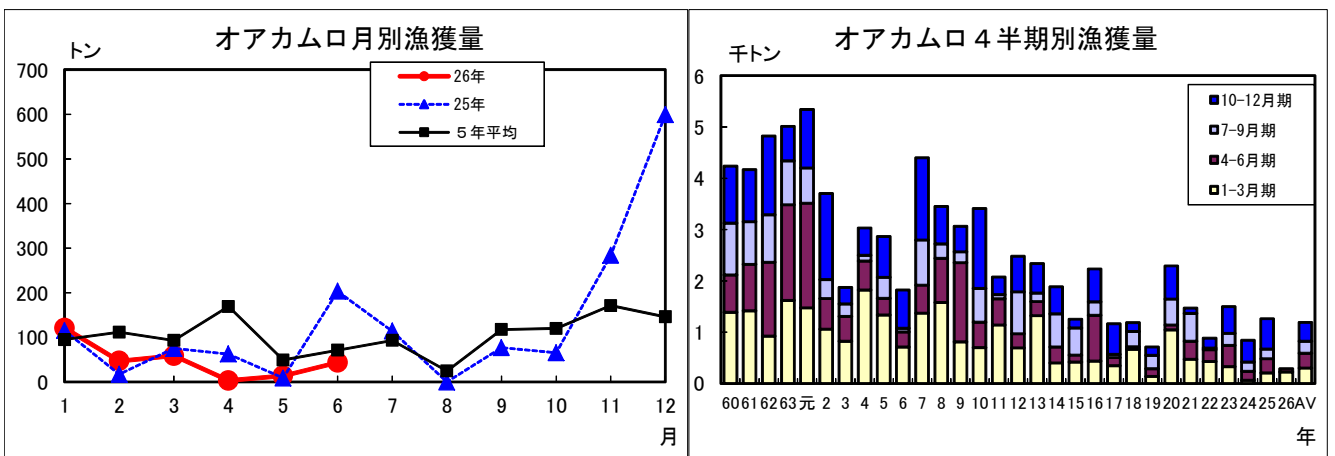


図 オアカムロまき網漁獲量変化(4港計)

※平年値は過去5年（平成21～25年）の平均値(AV)，平成26年6月25日までの水揚量を使用



〈マルアジ（アオアジ）（水産技術開発センター調べ：4港計）〉

1. 経年変化及び平成26年4～6月期の漁況の経過

マルアジの漁獲量は、昭和62年から平成元年に1,500トンを超えるピークがあり、その後低調に推移し、平成12年から15年に再度ピークを迎え15年には3,150トンと最高を記録しましたが、平成16年以降は低調に推移し、21年は過去最低の94トンとなりました。

22, 23年はやや増加したものの依然低調で、25年は392トンとなりました。

平成26年4～6月は、6月に長島、野間池沖でマルアジ小主体のまとまった漁獲があり、期全体で137トンの水揚げで、前年の216%及び平年の188%となりました。

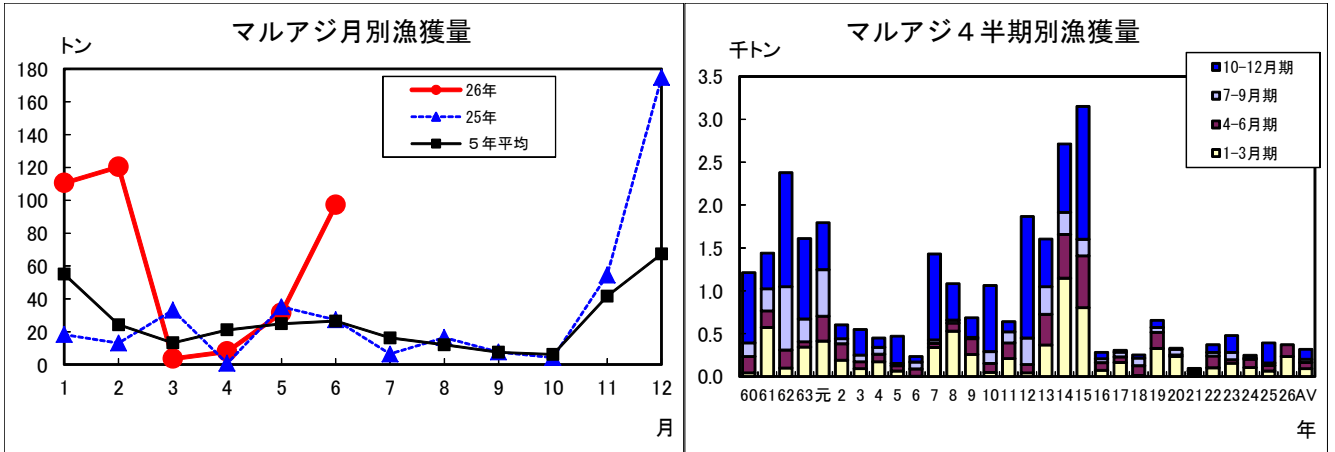


図 マルアジ（アオアジ）まき網漁獲量変化（4港計）

※平年値は過去5年（平成21～25年）の平均値(AV)、平成26年6月25日までの水揚げ量を使用